

【3日目】1月20日(火)

この日の研修はクアラルンプールのシンボルにもなっているペトロナスツインタワーの見学からスタートしました。このタワーは「ツイン」という名前からもわかるように、2つの塔からできています。片方は韓国、もう片方は日本の会社の施工だそうです。高さ451.9mの88階建て。クアラルンプールの市街が一望できます。都の職員の方からは、初めて行く街では高い建物に上るとその都市の様子が見られるので、ぜひこれからもそうしてほしいとアドバイスも聞きました。緑の色の濃さも、建物の様子も日本とは違います。



バスに乗り、次に向かったのはバトウ洞窟です。金色の巨大な像とカラフルな階段で有名です。その迫力に圧倒されましたが、それぞれの細かい装飾も見事で、ここでも異文化を感じる機会となりました。こちらはヒンドゥー教の聖地です。前日には中国の文化である天后宮を見ましたが、お祈りの仕方も色の使い方も全く違います。野生の鳩や猿も多くて、警戒しながらもカラフルな世界を味わうことができました。そのままバスで、インド料理店に向かいました。ヒンドゥー教もインド料理も、もちろんインド由来ですが、マレーシアにはマレー人、華人、インド人が主に住んでおり、インド人は約7%です。それぞれの文化が共生している様子を肌で感じることができました。昼食はインド料理店でいただきました。マレーシアにいるとさまざまな料理を味わうことができます。



この後はセントラルマーケットという市場にて市場調査を行いました。ここはただの市場ではなく、1888年に建てられた歴史ある建物です。道中、「クアラルンプール」は「場所」という意味の「Kuala」と、「泥」という意味の「Lumpur」が合わさってできていますが、河を見ながらその由来も説明していただきました。マーケットには食料品、バティックという伝統的な布、特産品のなまこ石鹼などさまざまなものがありました。また、アロー通りというナイトマーケットでにぎわう通りにも行き、ドリアンなど現地の食べ物が売られている様子や屋台の準備の様子を視察しました。

振り返りでは、異文化を体験することで私たちが得られたことを確認し、それを東京ではどのように体験してもらうことや感じてもらうことができるのかを話し合いました。東京で事前学習をする中で感じてきたものが、現地で肌で体感して、以前にも増いて日本にいる他の人たちにも体験してほしいという思いが強まりました。「今まで点と点だったものがつながって見えておもしろい!」「日本でやりたいことがいっぱい浮かんできた!」という声も出てきて、ワクワクしながら毎日学んでいます。